

# しおんだより VOL.11



## 今まで見えなかったものを見るために…

医療では問診や診察は極めて重要です。例えば、おなかが痛い、熱が出る、なんとなくふらつく…など色々な症状によって医療機関を受診された時に、それらの症状がいつから出たのか、なにかきっかけはあったのか、どのあたりなのか、どんな痛みなのか、ひどくなる要因はあるのか、などなど、問診でお聞きすべきことはたくさんあります。

ものの本によれば、問診だけで8割の病気は診断できるとか。また、診察室では、聴診や触診など、いわゆる医師の感覚を用いて患者さんの身体の中で起こっていることを探し当てて行きますが、これもまた、医師の腕の見せ所だと思います。

ただ、これだけでは、やはり正しい病名にたどり着くことはできません。身体の中で、一体どんなことが起こっているのか。話を聞いたり、診察させていただいたりしただけでは分からないことが目に見える。その検査法の一つが、X線を用いた検査です。

当院では、通常のレントゲン検査やX線造影装置に加えて、CT検査装置も備えていますが、この度、1週間の工事期間を経て約10年ぶりにリニューアルされました！

8月に導入されたばかりの最新鋭マルチスライスCT（80列）。従来のCTに比べて、放射線被曝を提言しながら、より精密な画像診断が可能になります。

## 画像はより鮮明に。患者さんは安全に。3D画像も！

CT検査装置の性能がバージョンアップしたことで、今までよりも鮮明な画像が得られるようになりました。また、従来は平面の画像だけでしたが、3Dの立体画像も描出できるようになっています。



10年一昔といいますが、コンピューターの性能が上がったことや、従来の当院の機械よりもまたX線検出器の数が60列から80列に増えたことにより、検査にかかる時間はかなり短くなりました。

検査時間が短くなったこともあり、患者さんの被ばく量も従来よりも低減していますので、より楽に、そして安全に検査を受けていただくことができます。

また、検査結果は、放射線科の専門医による読影を行い、より正確な診断を目指しています。当院に入院中、通院中の方以外にも、地域の開業医や在宅訪問医の先生方からも、予約制で検査を施行しています。患者さんのCT撮影でお困りであればご一報いただければ、調整いたします。

## Zoom面談を始めています

令和2年の2月ごろより、急速に広まり始めた新型コロナウイルス感染症。まさか、ここまで広がるとは、そして、ここまで長期化するとは、驚くばかりです。

コロナの影響は多岐に亘りますが、感染管理を厳格にすることが求められ、患者さんにとってもご家族さんにとっても重要な面会を、全面禁止せざるを得なくなりました。この度、zoomによる面会のシステムを構築し、実際に稼働させています。



一階と病室を、zoomでつないで短時間ですが面会をしていただいています。

画面越しではありますが、ご家族さんの声を聞いて表情がぱっと明るくなる患者さん、患者さんの顔を見て目頭を熱くされるご家族さんなど、段取りをしたかいたったと思うことも多いです。ご希望されるご家族様は、是非、お気軽にお問い合わせ下さい。

しおんだより 第11号 発行日：令和3年9月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: [www.shion-hp.or.jp](http://www.shion-hp.or.jp)